



「平和」を考える

ノルウェー・ノーベル委員会は10月11日午前11時(日本時間同日午後6時)すぎ、2024年のノーベル平和賞を、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に授与すると発表し、受賞理由を次のように説明している。

広島と長崎の被爆者による草の根運動である日本被団協は、核兵器のない世界を実現するための努力と、核兵器が二度と使用されてはならないことを証言によって示してきたことが評価され、平和賞の受賞が決まりました。 1945年8月の原爆投下を受けて、核兵器の使用がもたらす壊滅的な人道的結末に対する認識を高めるべく、世界的な運動が起こり、そのメンバーはたゆまぬ努力を続けてきました。(…省略…)こうした歴史の証人たちは、個人的な体験を語り、自らの経験に基づく教育キャンペーンを展開し、核兵器の拡散と使用に対する緊急の警告を発することで、世界中で核兵器に対する広範な反対意見を生み出し、それを強化するのに貢献してきました。(…省略…)ノルウェー・ノーベル委員会は、一つの心強い事実を認めるべきである。すなわち、80年近くの間、戦争で核兵器が使用されることはなかったという事実である。日本被団協をはじめとする被爆者代表の並々ならぬ努力は、核兵器使用のタブーの確立に大きく貢献した。それゆえ、今日、核兵器使用のタブーが圧力を受けていることは憂慮すべきことである。(…省略…)人類の歴史上、今こそ、核兵器とは何かを思い出す価値があります。核兵器とは、世界がこれまでに経験したことの無い最も破壊的な兵器なのです。 来年は、2発の米国の原子爆弾が広島と長崎の推定12万人の住民を殺害してから80年目にあたります。(…省略…)1956年、地元の被爆者団体と太平洋核実験の被害者が合同し、日本原水爆被害者団体協議会が結成されました。(…省略…)今年のノーベル平和賞を日本被団協に授与することで、ノルウェー・ノーベル委員会は、肉体的苦痛や辛い記憶にもかかわらず、その高価な経験を平和への希望と関与を育むために役立てることを選択したすべての被爆者を称えたいと考えている。(…省略…)

被爆者の立場から世界に核兵器廃絶を訴えてきた活動が高く評価されただけでなく、日本被団協の活動のさらに素晴らしいところは、被爆した証言者が少なくなっていく中で、戦争を知らない若い世代が、これまで活動してきた人々の強い意思を含めこの活動を継承し、その目標達成に向けて持続可能な活動となっていることです。

「ノー・モア・ヒロシマ ノー・モア・ナガサキ ノー・モア・ウォー ノー・モア・ヒバクシャ」

全世界の人々が常に生命が脅かされることなく生活することができる争いのない世界を実現するため、わたしたちができることは何か、友達や家族と一緒に考えてみましょう。

◆学校公開週間及びスクールフォーラムについて (ご案内)◆

11/1(金)～7日(木)の「いしかわ教育ウィーク」の期間、本校は1日(金)、5日(火)、7日(月)を学校公開日として設定しております。(公開時間は、3日間とも8:30～12:20)

また、11/21(木)12:50～13:20の間、「スクールフォーラム」を本校体育館にて行います。終了後、13:30～14:20に授業参観、14:40頃から1・2年生は「学年懇談会」、3年生は「進路説明会」を行います。

金沢市秋季新人大会の結果

入賞、おめでとうございます

【優勝】

陸上〈女子〉共通100m・200m 酒井菜夏
共通4×100mR (中川栞那・今井千咲・宮下 穂・酒井菜夏)
1年砲丸投 中川栞那
水泳〈男子〉50mバタフライ 山岸省一
メドレーR (北市侑暉・大慈彌雄士・山岸省一・村山蒼空)



【2位】

陸上〈男子〉共通走高跳・共通走幅跳 嶋川諒大
〈女子〉共通800m 茅山夏海
水泳〈男子総合〉
〈男子〉100m自由形 村山蒼空
100mバタフライ 山岸省一



【3位】

陸上〈男子総合〉、〈女子総合〉
〈男子〉共通100m 本庄結也
共通4×100mR (高島 椋・嶋川諒大・柴田蒼介・本庄結也)
共通走幅跳 柴田蒼介
1年4×100mR (坂井雄紀・島崎悠月・松尾航大・清水裕斗)
水泳〈男子〉50m自由形 村山蒼空
200m自由形・400m自由形 苗島光喜

【入賞】

女子バレーボール ベスト8 **【加賀地区大会出場】**
男子ソフトテニス〈団体〉9位決定戦 **【加賀地区大会出場】**
女子ソフトテニス〈団体〉5位決定戦 **【加賀地区大会出場】**
女子バドミントン 団体A ベスト8 **【加賀地区大会出場】**
男子卓球 団体B ベスト8
女子卓球 団体A ベスト8
陸上〈男子〉共通100m 柴田蒼介 (7位)
共通200m 本庄結也 (4位)
共通400m 高島 椋 (6位)
共通800m 村田一寿 (6位)
共通1500m 本多総祐 (5位)、塚田航生 (7位)
共通3000m 本多総祐 (5位)、塚田航生 (8位)
1年100m 島崎悠月 (7位)
1年1500m 池田大太 (6位)
1年砲丸投 清水裕斗 (4位)
〈女子〉共通100m 宮下 穂 (5位)
共通800m 小田柿 羽音 (7位)
共通走高跳 今井千咲 (4位)
水泳〈男子〉100m自由形 北市侑暉 (4位)
200m自由形 北市侑暉 (4位)、大慈彌雄士 (5位)
50m平泳ぎ 大慈彌雄士 (4位)
剣道〈女子個人〉大場菜々子 (ベスト8)

